

4/2 市民サービスの更なる向上を目指し 上下水道局看板掲揚式



平成30年4月1日付けで、宜野湾市水道局と建設部下水道課が窓口ワンストップサービスをはじめとする、市民の利便性の向上を図ることを目的に組織統合し、新生「宜野湾市上下水道局」として事業運営を開始することになりました。

事業開始の初日である4月2日(月)に、上下水道局庁舎の正面玄関前で、佐喜眞淳市長・松川正則副市長と、和田敬悟下水道局長以下の局員が参加し、看板掲揚式行いました。上下水道事業を適正かつ円滑に推進し、市民サービスの更なる向上に取り組むことを再確認しました。

お問合せ先は下記のとおりです。

上下水道局

■上下水道料金に関すること
業務サービス課 業務係 電話 892-3352

■給水装置の新設・改修に関すること
業務サービス課 給水設備係 電話 892-2119

■排水設備工事に関すること
業務サービス課 排水設備係 電話 892-5733

■組織統合に関すること
総務企画課 電話 892-3351

4/11 普天間飛行場全面返還合意から 22年を迎えて



去る4月12日で普天間飛行場の全面返還合意から22年が経過したことを受け、佐喜眞市長が記者会見を行いました。

佐喜眞市長は、普天間第二小学校への米軍ヘリ窓落下など重大事故が起きていることに触れ「普天間飛行場の危険性が放置されている。市民の不安や苦悩は既に限界を超えている」とし、「普天間飛行場の一日も早い返還の実現と返還後の未来ある基地跡地利用に向け、引き続き全力で取り組んでいきます」と話しました。

3/26、28 米軍機による夜間をはじめとする騒音被害 について抗議・要請を行いました



米軍機による連日の夜間騒音等により、苦情は平成30年3月だけで65件にも上り、平成29年度は過去最多の432件寄せられています。このような深刻な状況を受け、沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使、第三海兵遠征軍司令官、沖縄米国総領事へ抗議・要請を行いました。佐喜眞市長は、夜間騒音については機会ある毎に改善を強く要請しているにも関わらず依然として市民生活へ大きな影響を及ぼしていることに厳重に抗議するとともに、夜10時以降の飛行および地上での活動は実施しないよう強く求めました。

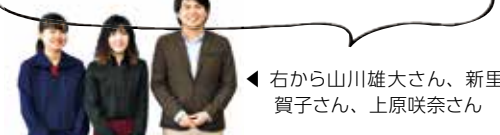
4/19 ハワイにいるウチナアンチュへの恩返しとして ハワイ沖縄プラザ建設募金 贈呈式



市は「ハワイ沖縄プラザ」の建設費として、ハワイ沖縄プラザ建設募金推進本部に50万円を寄付しました。ハワイのウチナアンチュの皆さまは、終後、荒廃した沖縄を支援するため物資を提供するなど、本県の復興に大きく貢献されました。募金を受けた沖縄ハワイ協会の高山朝光会長は「ハワイには宜野湾市人会もあり、結びつきも強くなる。ハワイにも報告したい」と語りました。

4/13 アメリカで沖縄の未来を考える カケハシ・プロジェクト（TOFUプログラム）報告会を開催

ワシントンDCとボストンへ訪問し、アメリカの地で沖縄の未来について考えました！



◀ 右から山川雄大さん、新里賀子さん、上原咲奈さん



外務省が実施する「対日理解促進交流プログラム」の一環であるカケハシ・プロジェクト『アメリカで沖縄の未来を考える』（TOFUプログラム）へ参加し、アメリカ現地の学生やキャロライン・ケネディ前駐日大使などと交流を行った山川雄大さん、新里賀子さん、上原咲奈さんの3人が参加報告会を行いました。上原さんは「アメリカの学生は、みんな自分の意見を持っていた。沖縄がどうやったら良くなるのか、自分自身の意見を持てるようになりたい」と今回のプログラムを通して感じたことを発表しました。

4/21、22 市民との協働による地域づくり 第4回オクラレルカ祭開催



市志真志ハイツの南側を流れるチブ川の周辺で、第4回オクラレルカ祭（主催：NPO チブ川保存会、共催：長田区自治会）が開催されました。

チブ川は、かつて雑草が茂り、ハブが生息し、ごみが不法投棄されていましたが、近隣住民で手入れを行い、せせらぎを取り戻しました。今では子どもたちがエビやグッピーを捕まえて楽しむ遊び場にもなっています。この活動は、平成27～29年度まで宜野湾市地域づくり推進事業の助成金を活用して行われ、現在も活動を続けています。

桜やゆりなども植えており、地域住民のいこいの場、交流の場となっています。